

平成26年度第2四半期再資源化預託金等特別会計収支計算書(案)の説明書

平成26年4月1日から平成26年9月30日まで

◎金額の表示について:百万円未満を四捨五入表示しているため、合計額は必ずしも計算値とは一致しない。金額がないものは'-'、金額はあるが単位未満のものは'0'で表示している。なお、金額がマイナスの場合は'△'で表示している。
 ◎想定進捗率について:年度当初に想定した当期の年度予算に対する進捗率である。

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

①預託金預り収入

再資源化等預託金預り収入

(1) 預託方法別の預託台数

	平成26年度2Q				平成25年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年度予算(b)	進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
新車購入時預託	248万台	461万台	54%	41%	255万台	△7万台	97%
引取時預託(後付預託を除く)	3万台	6万台	50%	50%	3万台	△0万台	88%
合計(A)	251万台	467万台	54%	42%	258万台	△7万台	97%
※引取時預託(後付預託を除く)の年度予算には番号不明被災自動車対応分5百台含む。平成26年度2Q実績は右欄を参照。							
引取時預託(後付預託のみ)(B)	2万台	5万台	46%	50%	3万台	△1万台	78%
預託台数合計(A)+(B)	253万台	472万台	54%	42%	261万台	△8万台	97%

(2) 品目別の平均単価(エアバッグ類・フロン類未装備車及び番号不明被災自動車を除いたもの)

	平成26年度2Q			平成25年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年度予算(b)	差異(a)-(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
ASR	6,250円	6,370円	△120円	6,360円	△110円	
エアバッグ類	2,130円	2,170円	△40円	2,230円	△100円	
フロン類	1,870円	1,960円	△90円	1,980円	△110円	
合計	10,250円	10,500円	△250円	10,570円	△320円	

(3) 品目別の装備率(エアバッグ類・フロン類未装備車及び番号不明被災自動車を除いたもの)

	平成26年度2Q			平成25年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年度予算(b)	差異(a)-(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
エアバッグ類	98%	98%	0	97%	1	
フロン類	99%	99%	0	99%	0	

(4) 金額

	平成26年度2Q				平成25年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年度予算(b)	進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
	25,646百万円	48,808百万円	53%	42%	27,106百万円	△1,460百万円	95%
※年度予算には番号不明被災自動車対応分5百万円含む。平成26年度2Q実績は1百万円。							

【予算との比較】

○消費税増税後の反動減が想定より小さく、新車購入時預託台数は予算を上回った。

《新車購入時預託台数実績》

	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
平成26年度予算	90万台	101万台	98万台	172万台	461万台
平成26年度実績	117万台	131万台			248万台
平成25年度実績	119万台	136万台	131万台	184万台	569万台

○引取時預託台数(後付預託を除く)については、番号不明被災自動車は予算を下回ったが、合計では予算通りとなった。

《引取時預託台数(後付預託を除く)内訳》

	平成26年度2Q			
	決算(a)	年度予算(b)	進捗率(a)/(b)	想定進捗率
定常	29,995台	60,000台	50%	50%
番号不明被災自動車(※)	81台	500台	16%	40%
合計	30,076台	60,500台	50%	50%

《番号不明被災自動車の総台数見込み》

預託実績総台数(a) (平成26年9月末まで)	総台数見込み(b) (※)	進捗率 (a)/(b)
12,593台	13,000台	97%

(※)平成26年度予算作成時の見込み

平成26年9月時点の見込み(12,593台)における進捗率は100%

(※)番号不明被災自動車の予算には上振れリスク分300台を含む

○ASRの平均単価は、販売台数における軽自動車の比率が想定よりも高かった(想定40%→実績41%)ことから、予算を下回った。(参考資料参照)
 エアバッグ類、フロン類の平均単価については、今年度予算策定の基とした前年度実績から低下しており、予算を下回っている。

○各品目の装備率は予算通り。

以上の通り予算を下回る要因はあるが、主として新車販売台数の増加により再資源化等預託金預り収入の進捗率は予算を上回った。

【平成25年度同期実績との比較】

○新車購入時預託台数は平成25年度同期実績を若干下回った。

○各品目の平均単価は平成25年度同期実績を下回った。

以上を要因として、再資源化等預託金預り収入は平成25年度同期実績を下回った。

《品目別預託方法別の平均単価(エアバッグ類・フロン類未装備車及び番号不明被災自動車を除いたもの)》

	平成26年度2Q決算		平成26年度予算		平成25年度2Q決算	
	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託
ASR	6,260円	5,690円	6,380円	5,760円	6,360円	5,730円
エアバッグ類	2,120円	2,320円	2,170円	2,300円	2,230円	2,290円
フロン類	1,870円	2,120円	1,960円	2,120円	1,980円	2,120円
合計	10,250円	10,130円	10,510円	10,180円	10,570円	10,140円

《品目別預託方法別の装備率(番号不明被災自動車を除いたもの)》

	平成26年度2Q決算		平成26年度予算		平成25年度2Q決算	
	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託
エアバッグ類	99%	34%	99%	32%	98%	31%
フロン類	99%	31%	99%	30%	99%	30%

【予算との比較】

預託台数合計が予算を上回ったことから、情報管理預託金預り収入の進捗率も予算を上回った。

【平成25年度同期実績との比較】

預託台数合計が平成25年度同期実績を若干下回ったことから、情報管理預託金預り収入も平成25年度同期実績を若干下回った。

情報管理預託金預り収入

(1) 預託方法別の預託台数

	平成26年度2Q				平成25年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年度予算(b)	進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
新車購入時預託	248万台	461万台	54%	41%	255万台	△7万台	97%
引取時預託	3万台	6万台	50%	50%	3万台	△0万台	88%
合計	251万台	467万台	54%	42%	258万台	△7万台	97%
※引取時預託の予算には番号不明被災自動車対応分5百台含む。							

(2) 金額

	平成26年度2Q				平成25年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年度予算(b)	進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
	326百万円	607百万円	54%	42%	336百万円	△9百万円	97%
※年度予算には番号不明被災自動車対応分0.1百万円含む。平成26年度2Q実績は0.0百万円。							

預託金預り収入計

金額

	平成26年度2Q				平成25年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年度予算(b)	進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
	25,973百万円	49,415百万円	53%	42%	27,442百万円	△1,469百万円	95%
※年度予算には番号不明被災自動車対応分5百万円含む。平成26年度2Q実績は1百万円。							

②特定資産運用収入-再資源化預託金等特定資産運用収入

金額

	平成26年度2Q				平成25年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年度予算(b)	進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
	5,639百万円	11,271百万円	50%	51%	5,811百万円	△172百万円	97%

【予算との比較】

概ね予算通り。

【平成25年度同期実績との比較】

平成25年度同期実績を若干下回った。

《保有債券残高実績》

平成26年度2Q末残高	平成25年度2Q末残高
8,924億円	8,752億円

2. 事業活動支出

①預託金払渡支出

再資源化等預託金払渡支出

(1)品目別の払渡台数

	平成26年度2Q				平成25年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年度予算(b)	進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
ASR	180万台	348万台	52%	55%	175万台	4万台	103%
エアバッグ類	131万台	237万台	55%	55%	115万台	16万台	114%
フロン類	163万台	302万台	54%	55%	153万台	10万台	107%

※年度予算には番号不明被災自動車対応分を含む。内訳と平成26年度2Q実績は右欄を参照。

(2)品目別の平均単価

	平成26年度2Q			平成25年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異 (a)-(c)
	決算(a)	年度予算(b)	差異(a)-(b)		
ASR	6,180円	6,190円	△10円	6,200円	△20円
エアバッグ類	2,270円	2,300円	△30円	2,220円	50円
フロン類	2,090円	2,090円	0円	2,090円	0円

(3)金額

	平成26年度2Q				平成25年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年度予算(b)	進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
	17,455百万円	33,306百万円	52%	55%	16,604百万円	852百万円	105%

※年度予算には番号不明被災自動車対応分7百万円含む。平成26年度2Q実績は5百万円。

【予算との比較】

- 引取業者引取台数の進捗率は予算を若干下回った。
 - 各品目の払渡台数の進捗率は、ASR・フロン類は引取業者引取台数の減少等により予算を若干下回った。
 - エアバッグ類については引取業者引取台数は減少したものの、装備率が予算を上回ったこと等により予算と同水準に留まった。
 - 番号不明被災自動車の払渡台数の進捗率は、ASR、エアバッグ類は予算を上回り、フロン類は予算を下回った。
 - 番号不明被災自動車の払渡の総台数は12,134台(ASR)となり、平成26年9月時点の総台数見込み12,593台の96%が処理された。
 - 各品目の平均単価はいずれも概ね予算通り。
- 以上の通り、主として払渡台数が予算を若干下回ったことにより、再資源化等預託金払渡支出の進捗率は予算を若干下回った。

《引取業者引取台数実績》

	平成26年度2Q				平成25年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年度予算(b)	進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
	171万台	340万台	50%	52%	168万台	4万台	102%

《引取業者引取台数におけるエアバッグ類・フロン類の装備率実績》

	平成26年度2Q		平成25年度2Q 決算
	決算	年度予算	
エアバッグ類	71%	69%	66%
フロン類	88%	87%	86%

《番号不明被災自動車の品目別払渡台数実績》

	平成26年度2Q			
	決算(a)	年度予算(b) (※2)	進捗率 (a)/(b)	想定 進捗率
ASR	609台	840台	73%	50%
エアバッグ類(※1)	393台	720台	55%	50%
フロン類(※1)	201台	600台	34%	50%
情報管理預託金	559台	1,100台	51%	55%

(※1)予算策定時のエアバッグ類及びフロン類の想定装備率
エアバッグ類58%、フロン類27% (平成26年1月までの払渡台数実績より算出)
(※2)予算には上振れリスク分300台を含む

《番号不明被災自動車の払渡台数とエアバッグ類、フロン類装備率の実績推移》

	平成23年度 (11-3月)	平成24年度	平成25年度	平成26年度		合計	
				1Q	2Q		
ASR	1,724台	6,016台	3,785台	243台	366台	12,134台	
エアバッグ類	2,253台	3,704台	830台	303台	90台	7,180台	
フロン類	311台	2,479台	117台	7台	194台	3,108台	
情報管理預託金	3,449台	6,106台	2,327台	249台	310台	12,441台	
エアバッグ類	装備率 (※)	68%	55%	44%	38%	51%	58%
フロン類		36%	21%	16%	0%	0%	26%

(※)装備率は引取業者引取時における装備率である為、払渡までに数か月のタイムラグが生じる

【平成25年度同期実績との比較】

- 各品目の払渡台数は、3品目いずれも前年同期実績を上回った。
 - 各品目の平均単価はいずれも平成25年度同期実績並みとなった。
- 以上を要因として、再資源化等預託金払渡支出は平成25年度同期実績を上回った。

情報管理預託金払渡支出

(1)台数

	平成26年度2Q				平成25年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年度予算(b)	進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
	184万台	344万台	53%	55%	178万台	6万台	103%

※予算には番号不明被災自動車対応分1千台含む。平成26年度2Q実績は右欄を参照。

(2)金額

	平成26年度2Q				平成25年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年度予算(b)	進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
	322百万円	606百万円	53%	55%	286百万円	36百万円	113%

※予算には番号不明被災自動車対応分0.1百万円含む。平成26年度2Q実績は0.1百万円。

【予算との比較】

- 情報管理預託金払渡台数の進捗率は、予算を若干下回った。
 - 単価230円の払渡台数の比率は概ね予算通り。
- 以上を要因として、情報管理預託金払渡支出の進捗率は予算を若干下回った。

《情報管理預託金払渡支出の単価別の払渡台数》

1台当たり単価	平成26年度2Q決算		平成26年度予算		平成25年度2Q決算	
	払渡台数	比率	払渡台数	比率	払渡台数	比率
130円	100万台	55%	186万台	54%	124万台	70%
230円	83万台	45%	158万台	46%	54万台	30%
合計	184万台	100%	344万台	100%	178万台	100%

【平成25年度同期実績との比較】

- 払渡台数は平成25年度同期実績を若干上回った。
 - 単価230円の払渡台数の比率が平成25年度同期実績を上回った。
- 以上を要因として、情報管理預託金払渡支出は平成25年度同期実績を上回った。

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

	平成26年度2Q				平成25年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年度予算(b)	進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
	1,800百万円	3,407百万円	53%	56%	1,492百万円	308百万円	121%

【予算との比較】

- 利息を付与する払渡台数が予算を若干下回ったため、未払再資源化預託金等利息支払支出の進捗率も予算を若干下回った。

【平成25年度同期実績との比較】

- 1台当たりの利息単価が平成25年度同期実績を上回った(ASR利息単価実績:549円→633円)ことから、未払再資源化預託金等利息支払支出は平成25年度同期実績を大きく上回った。

《各年度の利率》

平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
0.004%	0.380%	0.835%	1.132%	1.248%	1.304%	1.344%	1.330%	1.299%	1.236%

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

預託金払渡支出計

金額

	平成26年度2Q				平成25年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年度予算(b)	進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
	19,578百万円	37,319百万円	52%	55%	18,381百万円	1,196百万円	107%

※予算には番号不明被災自動車対応分8百万円含む。平成26年度2Q実績は5百万円。

②預託金輸出返還支出

再資源化預託金等輸出返還支出

(1)台数

平成26年度2Q				平成25年度2Q		
決算(a)	年度予算(b)	進捗率(a)/(b)	想定進捗率	決算対前年度差異		
				決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
74万台	120万台	62%	50%	64万台	11万台	117%

(2)平均単価

平成26年度2Q			平成25年度2Q	
決算(a)	年度予算(b)	差異(a)-(b)	決算(c)	決算対前年度差異
			(a)-(c)	(a)/(c)
11,390円	11,270円	120円	11,250円	140円

(3)金額

平成26年度2Q				平成25年度2Q		
決算(a)	年度予算(b)	進捗率(a)/(b)	想定進捗率	決算対前年度差異		
				決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
8,457百万円	13,519百万円	63%	50%	7,166百万円	1,291百万円	118%

【予算との比較】

○中古車輸出が想定を上回る増加傾向にあり、輸出返還台数の進捗率は予算を上回った。
○輸出返還平均単価は概ね予算通りであった。
以上の通り、主として輸出返還台数の増加により再資源化預託金等輸出返還支出の進捗率は予算を上回った。

《輸出返還台数実績》

	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
平成26年度予算	30万台	30万台	30万台	30万台	120万台
平成26年度実績	36万台	38万台			74万台
平成25年度実績	29万台	34万台	34万台	36万台	133万台

【平成25年度同期実績との比較】

○輸出返還台数は平成25年度同期実績を上回った。
○輸出返還平均単価は平成25年度同期実績を若干上回った。
以上を要因として、再資源化預託金等輸出返還支出は平成25年度同期実績を上回った。

【参考】輸出返還平均単価の推移

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度2Q
9,720円	10,470円	10,760円	10,760円	11,140円	11,190円	11,170円	11,250円	11,390円

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成26年度2Q				平成25年度2Q		
決算(a)	年度予算(b)	進捗率(a)/(b)	想定進捗率	決算対前年度差異		
				決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
755百万円	1,254百万円	60%	49%	568百万円	188百万円	133%

【予算との比較】

利息を付与する輸出返還台数が予算を上回ったことから、未払再資源化預託金等利息支払支出の進捗率は予算を上回った。

《利息が付された輸出返還1台当たりの利息単価の実績》

	平成26年度2Q			平成25年度2Q	
	決算(a)	予算(b)	差異(a)-(b)	決算(c)	決算対前年度差異(a)-(c)
利息単価	1,019円	1,025円	△6円	892円	127円

《預託年度別の輸出返還台数実績》

預託年度	平成26年度2Q		
	決算	年度予算	予算進捗率
平成16年度	6万台	14万台	46%
平成17年度	26万台	42万台	62%
平成18年度	18万台	28万台	65%
平成19年度	7万台	15万台	47%
平成20年度	5万台	8万台	64%
平成21年度	4万台	5万台	73%
平成22年度	3万台	4万台	88%
平成23年度	2.0万台	1.6万台	127%
平成24年度	1.0万台	1.0万台	109%
平成25年度	1.0万台	1.0万台	99%
平成26年度	0.2万台	0.6万台	29%
合計	74万台	120万台	62%

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。
(※)なお、当年度預託の自動車の当年度輸出返還には利息は付されない。

【平成25年度同期実績との比較】

利息を付与する輸出返還台数、および1台あたりの利息単価が平成25年度同期実績を上回った(利息単価実績:892円→1,019円)ことから、未払再資源化預託金等利息支払支出は平成25年度同期実績を大きく上回った。

《各年度の利率》

平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
0.004%	0.380%	0.835%	1.132%	1.248%	1.304%	1.344%	1.330%	1.299%	1.236%

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

預託金輸出返還支出計

金額

平成26年度2Q				平成25年度2Q		
決算(a)	年度予算(b)	進捗率(a)/(b)	想定進捗率	決算対前年度差異		
				決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
9,213百万円	14,773百万円	62%	50%	7,734百万円	1,479百万円	119%

③他会計への繰入金支出

承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出

金額

平成26年度2Q				平成25年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年度予算(b)	進捗率(a)/(b)	想定進捗率	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
138百万円	159百万円	87%	96%	303百万円	△165百万円	46%

※予算には番号不明被災自動車対応分7百万円含む。平成26年度2Q実績は、右欄を参照。

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成26年度2Q				平成25年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年度予算(b)	進捗率(a)/(b)	想定進捗率	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
14百万円	-	-	-	27百万円	△13百万円	52%

他会計への繰入金支出計

金額

平成26年度2Q				平成25年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年度予算(b)	進捗率(a)/(b)	想定進捗率	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
152百万円	159百万円	96%	96%	330百万円	△178百万円	46%

※予算には番号不明被災自動車対応分7百万円含む。平成26年度2Q実績は、右欄を参照。

《出えん等先の内訳》

	出えん等額(※)	
	平成26年度2Q	平成25年度2Q
資金管理法人	-	111百万円
指定再資源化機関	152百万円	152百万円
情報管理センター	-	67百万円
合計	152百万円	330百万円

(※)「承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出」と「未払再資源化預託金等利息支払支出」の合計額

《使途別内訳》

使途別内訳	出えん等先	出えん等額(※)			
		平成26年度2Q 実績(a)	年度予算(b)	進捗率(a)/(b)	想定進捗率
離島対策等支援事業費用	指定再資源化機関	152百万円	152百万円	100%	100%
番号不明被災自動車対応費用	資金管理法人	-	7百万円	0%	0%
合計		152百万円	159百万円	96%	96%

(※)「承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出」と「未払再資源化預託金等利息支払支出」の合計額

II 投資活動収支の部

1. 投資活動収入

①特定資産取崩収入—再資源化預託金等特定資産取崩収入

金額

平成26年度2Q				平成25年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年度予算(b)	進捗率(a)/(b)	想定進捗率	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
28,520百万円	52,378百万円	54%	54%	26,184百万円	2,335百万円	109%

※予算には番号不明被災自動車対応分14百万円含む。平成26年度2Q実績は5百万円。

【予算との比較】
予算通り。

【平成25年度同期実績との比較】
主として払渡支出及び輸出返還支出の出金額が平成25年度同期実績を上回ったため、特定資産取崩収入は平成25年度同期実績を上回った。

2. 投資活動支出

①特定資産取得支出—再資源化預託金等特定資産組入支出

金額

平成26年度2Q				平成25年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年度予算(b)	進捗率(a)/(b)	想定進捗率	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
34,504百万円	62,013百万円	56%	50%	34,795百万円	△291百万円	99%

※予算には番号不明被災自動車対応分7百万円含む。平成26年度2Q実績は1百万円。

【予算との比較】
主として新車購入時の預託金預り収入が予算を上回ったため、特定資産取得支出は予算を上回った。

【平成25年度同期実績との比較】
平成25年度実績並みとなった。